

Visium Spatial / Xenium In Situによる 空間的遺伝子発現解析セミナー

開催日時 2025年 12月15日(月)18:00～19:00

開催形式 ハイブリッド（会場およびZoom配信）



セミナー 申込み用

セミナー会場：横浜市立大学 福浦キャンパス

オープンイノベーションラボ棟 セミナールーム2

参加登録：下記のURLまたは右のQRコードからお申し込みください

<https://qr.paps.jp/j25UQ>

※**要事前登録**（Zoom参加用リンクは参加登録時に送信。直前の登録・参加も可）

【演者】佐藤 勇次（10x Genomics, Sr. Science and Technology Advisor）

【講演要旨】

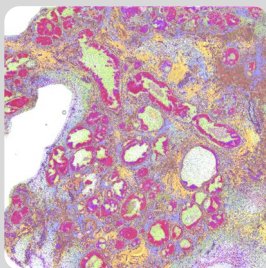
病理学的特徴を保持した状態で細胞の遺伝子発現を評価することは、生物学および病態の理解において非常に重要です。これまで、複雑で不均一な組織を解析する際に、複数の遺伝子の発現情報を空間的に把握することは極めて困難でした。しかし、2021年に「Method of the Year」としてspatially resolved transcriptomicsが選ばれて以降、多くの空間解析手法が開発され、世界各地で新たな知見が報告されています。

10x Genomicsでは、空間的遺伝子発現解析プラットフォームとして、次世代シーケンシングを用いたVisium Spatial、およびin situ法によるXenium In Situを提供しています。これらの技術を用いることで、凍結切片およびFFPE切片から、単一細胞スケールでの空間的遺伝子発現解析が可能となります。高解像度で得られる情報は、腫瘍学・免疫学・神経科学など、様々な分野においてより深い洞察をもたらします。

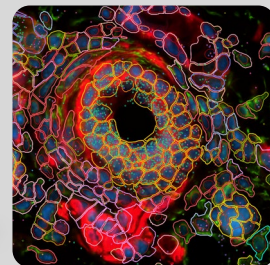
本セミナーでは、空間的遺伝子発現解析の原理とその応用性に加え、最新の研究動向についてご紹介いたします。



Visium Spatial



Xenium in situ



===== <<< 研究相談会を実施します >>> =====

【実施日時】12月15日(月)【募集枠】3枠（1枠45分：15時～、16時～、17時～、事前予約制）

※申込み方法と詳細は別紙を参照してください

学内問合せ先：

研究推進部 研究・産学連携推進課

研究企画担当 森田・村松

kyoudou@yokohama-cu.ac.jp

10x Genomics 問合せ先：

栗山 美登里（インサイドセールス）

midori.kuriyama@10xgenomics.com